

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590101984		
法人名	株式会社ビジュアルビジョン		
事業所名	けあビジョンホーム新潟太郎代		
所在地	新潟県新潟市北区太郎代2874-3		
自己評価作成日	令和3年3月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shidoushitsu/1204650966791.html">https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shidoushitsu/1204650966791.html</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和3年4月27日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

2019年13丁目1日に開設し、約1年が経過致しました。  
社訓にもある様に「明るく、元気に、誠実に」をもとに、ご利用者様、御家族、来客者様に接しています。毎日の朝礼、夕礼では、経営理念、社訓、ビジョン、誓い、基本動作10か条、スピリットを唱和し経営理念の周知を図っています。また、職員会議にて当ホーム独自の理念を掲げ、事務所にて掲示し、その理念に向けて介護に当たっています。  
年1回に開催される夢会議では、職員一人一人の来年度の夢を掲げ、その夢に向かって、社員一同となって実現に向けて取り組んでいます。  
1階ユニットのベランダには、畑があり、野菜栽培を行っており、直に採って食事の際に提供し、皆さん召し上がって頂いております。2階ユニットには観葉植物やソファを置いてあり、家庭的な空間づくりを提供させて頂いております。  
御家族からお小遣いをホームで預かり、ご本人が欲しいものがあれば職員と一緒に買い物へ出掛けています。また、必要な物品は、職員の方で買い物に行っています。毎月のお便りでは、ご利用者様の1か月の近況報告を記し、当ホームで過ごされている様子を記載しご家族に郵送し関係性を保っています。  
コロナが蔓延する前には、外出計画として、花見やドライブに出掛けたり、近隣まで散歩に行かれたりと心身のリフレッシュをさせて頂いておりました。現在は、コロナ禍もあり、外出の方は控えています。ホーム内で出来る事に力を入れ、年間行事のクリスマス会や日常のレクリエーション活動で下肢体操、歌を唄って頂いたり、民謡も取り入れて入居者様と職員とで佐渡おけさを踊ったり、マイクでカラオケを歌う事も取り入れて楽しみを増やしています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

## ○生活支援者としてのチーム力

事業所職員は、自分の夢、ケア方針を一人ひとり掲げ、社会の一員として事業所の役割を自覚しながら、日々のケアに取り組んでいる。コロナ禍における現状からは、利用者は馴染みの場所・人との関係継続や近隣地域との交流もままならず、心身ともに不安定な生活が今後も予測される。そのような状況においての開設1年目であり、事業所の組織作りを行う中、利用者の日々の暮らしに心地よい時間を作れるよう、朝と夕にはケアの話し合いの時間を設け、体操、歌、レクリエーション、行事等、様々な活動を生活の時間に取り入れる工夫を行っている。活動制限下において、より良い生活環境を目指し、ベテランと新人が意見を出し合い、協力し合う姿勢は、適切なケアの実践に欠かすことのできないチーム力を大切にしている現場職員の様子が窺えた。

## ○地域交流の可能性について

広大な工業地帯の中で古くから生活を営む集落があり、その中に開設間もない事業所がある。事業所の社訓である「明るく、元気に、誠実に」は事業所の目標であり、また目指すものとして、そこに近づくための努力を職員はしている。それは入居者の幸せと安らぎとなるはずである。集落は日本の生活文化である「向こう三軒両隣り」を思い起こすような光景で地域と共に共生するにふさわしい条件を備えていると思われる。(工業地帯にある集落であるからこそ住民が繋がることのできる)事業所自らが発信することで地域交流の足掛かりとなる可能性を十分含んでおり、コロナ禍という難しい状況であるからこそ地域包括ケアシステム(地域全体で支え合う仕組み)を築いていくことで利用者にとっても馴染みの環境の中で、自分らしく日常生活を継続できるということはサービスの質にも繋がる。今後は地域の核となって活躍できる可能性を感じる事業所である。